



## へご挨拶

### 新藤信夫

緜梅、梅、桃、杏と咲いて、いよいよ桜の季節が訪れようとしています。皆様には、早春の空気の中でお健やかに過ごしていただきます。

新型コロナウイルスの脅威も次第に去りつつあり、マスク使用の議論が高まる中で、国は欧米に倣って個人の判断に任せようとしています。

5月には、新型コロナウイルスの分類をインフルエンザと同じ五類に変更することを決めました。これによって、新型コロナウイルス感染症は「感

染力や感染した場合の重篤性などからみた危険性の高い感染症」(二類感染症)から五類の「国が発生動向調査を行い、発生・拡大を防止すべき感染症」へと法的に移行します。

新型コロナウイルスは、変異を繰り返し、再び感染性の高いウイルスが現れるかもしれません。基本的な感染症防止対策(うがい・手洗い等)を引き続き習慣とすることが大切です。

3年越しの新型コロナウイルス対策と共に、昨年2月から始まったウクライナ侵攻から1年が経過し、世界経済は大きなインフレの波に晒されています。

が期待されます。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなつていきます。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要があります。』

このような中で、さいたま市議会の自民党議員23名が「国民生活を守り、地域経済の早期回復に向けた実効的な対策や支援を求める要望書」をまとめ、2月13日に内閣総理大臣宛に提出しました。

国は、原油価格や物価の高騰による国民生活や経済活動への影響に対応するため、令和4年6月に物価・賃金・生活総合政策本部を立ち上げて、様々な支援策を講じてきました。

これは、物価の上昇など、非常に厳しい状況が続く地域経済の早期回復に向けた対策を実施する市独自の政策と合わせて、国においても先導的な取り組みを行うことにより、国民生活の安定を継続し、難局を乗り越えることが重要であることを確認し、実効的な政策や支援を速やかに実施することを国へ要望することとしたものです。これからも、国、県、市の連携を深め、市民の皆様によりよい政策の執行と予算の確保に努めて参ります。また、地球温暖化による風水害や発生確率が年々高まる首都直下地震等の危機に対して、強いインフラ整備を進める必要があります。皆様の協力の下さらに「住みよい街」の整備に向けて努力して参ります。

左から田中良生衆議院議員、村井英樹総理補佐官、新藤信夫。牧原衆議院議員は、この日衆議院予算委員会出席のため、要望会議には欠席されましたので、秘書を通じて要望書をお渡ししました。



## 2023年 住みたい街ランキング

さいたま市の人口は、まもなく134万人に達します。1年間に約1万人がさいたま市に移り住んでいます。リクルートが発表する『住みたい街ランキング2023(関東版)』では、大宮が3位で去年と同じでしたが、2位の吉祥寺に切迫してきました。1位は横浜、残念ながら浦和は去年の5位から12位に下がってしまいました。まだまだ高順位です。

さいたま市には若い年齢層の流入が多く、これからも人口増加が続くでしょう。このことによる今後の課題は、保育園、学校、学童保育等の増設を続けることです。車の増加等によって道路等のインフラ整備、増強も必要です。一方で幸いにして、所得税や固定資産税等の税収は伸びています。

この伸びた税収によって、公共施設の整備を推進していくことが、さいたま市の魅力をさらに上昇させる原動力となります。

2023年 順位	2022年 順位	2021年 順位	駅名(代表的な沿線名)	2023年 得点
1位	1位	1位	横浜(JR京浜東北線)	1560
2位	2位	3位	吉祥寺(JR中央線)	1108
3位	3位	4位	大宮(JR京浜東北線)	1059
4位	4位	2位	恵比寿(JR山手線)	924
5位	7位	7位	新宿(JR山手線)	789
6位	6位	5位	目黒(JR山手線)	681
7位	9位	9位	池袋(JR山手線)	665
8位	10位	12位	鎌倉(江ノ島電鉄線)	649
9位	11位	11位	渋谷(JR山手線)	618
	13位	13位	東京(JR山手線)	618

リクルート[首都圏]住みたい街(駅)ランキング

# 令和5年度予算可決

さいたま市は、2月定例議会に令和5年度予算案を提出し、3月3日の議会最終日に賛成多数で可決しました。予算規模は、下表のとおりで、一般会計6,690億円で前年比317億円の増、全会計1兆1,289億円で373億円の増となり、過去最高の予算額となっています。また、令和4年度から切れ目のない予算とするため、令和4年度の補正予算で、すでに77億円が計上執行されており、一般会計で合わせて6,767億円の16ヶ月予算となっています。

基礎的財政収支である公債費から市債発行額を引いたプライマリーバランスについては、決算額では令和4年度で△175億円と大幅ダウンとなり、予算額でも△105億円でした。さらに、令和5年度では、予算額310億円と大幅に下がっています。これは、返済額よりも新たな借入額が多くなっていることを示しています。従って、市債残高も増加しており、令和4年度より233億円の増となっています。

一方、財源不足に備えるために決算余剰金を積み立てる財政調整基金についても大幅減額となっており、令和4年261億円であったものが、令和5年度は、131億円と約半額となっています。プライマリーバランスはまだ健全エリアにあるものの、言わば借金が増えて、さらに預金が減る状態となっており、財政的には悪化の方向にあります。令和6年度以降、これを回復させる努力が必要となります。

予算の特徴としては、134万人に達する人口増に伴って、個人市民税や固定資産税の増加による市税収入の増、地方消費税交付金の増、建設事業の増加に伴う市債の増によって歳入が増加しています。

一方、歳出においては、市民会館うらわの新設、大宮駅西口再開発、サーマルエネルギーセンター建設、学校リフレッシュ工事等の建設事業費の増加(+188億円)、障害者自立支援給付、保育施設運営等の扶助費の増加(+47億円)、電気エネルギー価格高騰による光熱水費の増加(+42億円)が見込まれています。

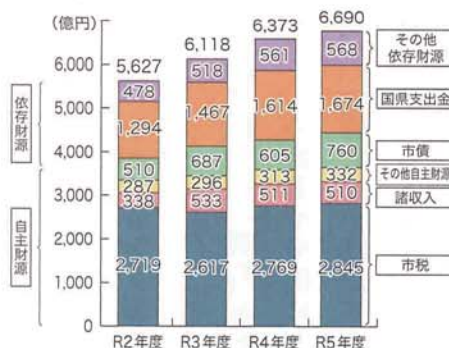
## 令和5年度当初予算の規模

一般会計、全会計予算総額ともに過去最大の予算規模

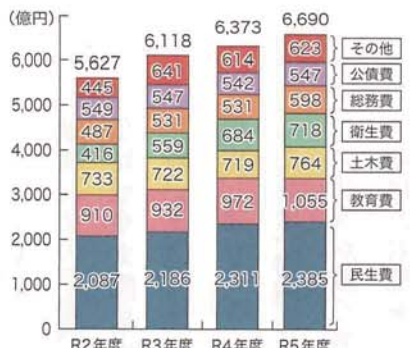
一般会計	6,690億円	前年度比	+317億円	+5.0%
特別会計	3,244億円	前年度比	+7億円	+0.2%
企業会計	1,354億円	前年度比	+49億円	+3.8%
全会計	1兆1,289億円	前年度比	+373億円	+3.4%

※ 会計ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と全会計の数値は一致しない場合があります。

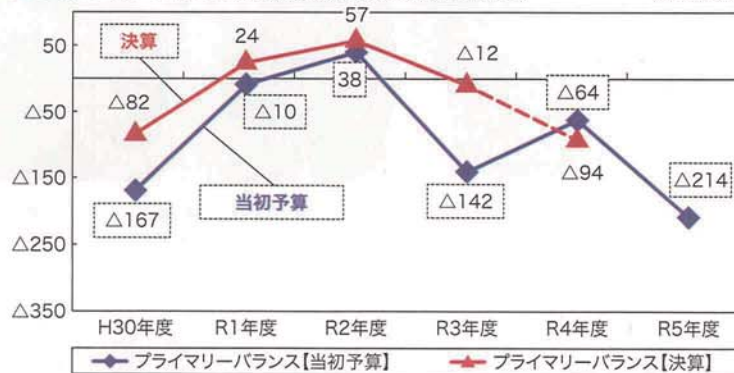
## 歳入予算額の推移(令和2年度~令和5年度)



## 目的別予算額の推移(令和2年度~令和5年度)



## プライマリーバランスの状況(臨時財政対策債含む) (単位:億円)



(臨時財政対策債とは?)  
地方の財源不足を補てんするため特例的に認められる地方債。その返済(元利償還金)は、後年度地方交付税で全額、財政措置される。

## 市債残高の推移(一般会計) (単位:億円)



## 道路の打ち替え増加

先号で桜木町内の舗装の打ち替えを紹介しましたが、1月~2月にかけて上小町内の住宅街の道路で長い延長の舗装の打ち替え工事を行いました。舗装の打ち替えは、舗装にクラックが入ったり、道路面がたわんで来ると行いますが、昭和40年代から50年代かけて多くの住宅街で、蓋なしのU字溝を蓋付きのロングUに替えて、舗装を整備する工事がさかんに行われました。



上小町郵便局前



上小町103番地先

それから40年~50年が経過し、交通量の少ない住宅街の道路でも舗装の傷みが増えて、打ち替えも工事が増加しています。

また平成の初期から多く使われるようになった透水舗装も年を経て路面のあれが目立つようになりました。

道路の傷みは事故にも繋がりますので、発見しましたら早めに各区のくらし応援室にお知らせ下さい。

## 学校トイレの評価

大宮区の小中学校には、まだ和式のトイレが残っているところ多くあり、これが要因で学校の評価が下がっているケースがあることがわかりました。トイレの洋式化は10年以上前から行われてきましたが、和式しか使ったことのない生徒がいたことから、最初の頃は全部を洋式に変えるのではなく和式も残していました。しかし、今やほとんどの家庭のトイレは洋式となり、和式トイレを使ったことのない生徒も多くなって、最近のトイレ改修工事では全てを洋式トイレに替えています。残った和式トイレも早急に洋式トイレに替える要望を教育委員会にしてみました。このことは教育委員会も強く認識しており、予算の確保に努めると言う回答を得ています。あわせて、臭いのひどいトイレについても、排水管の改修を行って改善することとなっています。